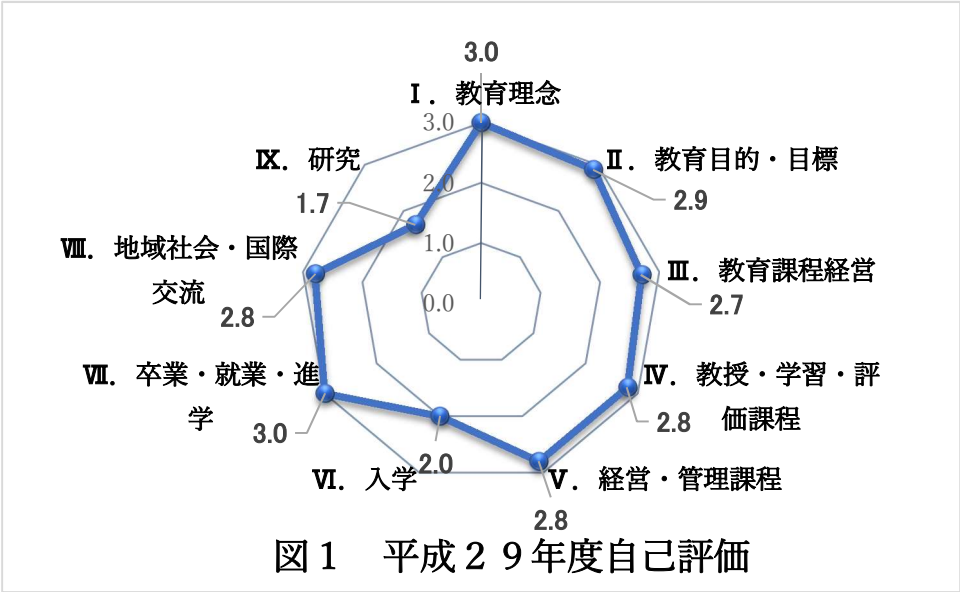


平成 29 年度自己評価の結果および取り組むべき課題



3：当てはまる 2：やや当てはまる 1：当てはまらない

＊ 平成 29 年度、自己評価項目の 1 部を変更した。

平成 29 年度取り組むべき課題	取り組みと結果
1. 自己点検・自己評価に必要なデータをできるだけ数値化し、評価資料を作成する。	卒業時カリキュラム評価などの数値化を行ったが、まだ数値化されていないデータも残っているため、引き続き取り組む。
2. 入学については入学生の一質と量の一確保のために応募者数を増やす。	応募者数は現状維持であり、入学者数は微増となった。第 2 看護学科の応募者を増やす取り組みを重点的に行っていく必要がある。
3. 卒業・就業・進学については卒業時の到達度の一評価、卒業生の一社会人基礎力の一アンケートを分析し、教育活動へフィードバックする。	卒業時の到達度の一評価、卒業生の一社会人基礎力の一アンケートの分析を行い、自己評価につながった。しかし、分析の時期が遅くなったため、フィードバックが十分でない。これらのデータ収集後速やかに分析するように取り組む。
4. 教育力向上に繋がる研修への参加率を上げる。	29 年は専門領域の研修参加が中心であり、個々の状況に応じて研修に参加できていた。

自己点検・自己評価の概要

平成 29 年度の一自己評価表は、I. 教育理念・目的、II. 教育目標、VII. 卒業・就業・進学の一項目を変更した。自己評価項目については別途示す。

平成 29 年度は評価点の全体の平均点は 2.3 から 2.6 に上がっているが、28 年度と評価項目を変更しているため単純比較はできない。また、課題改善への取り組みが、後期からとなったため成果が十分とは言えない状況である。Ⅵ. 入学とⅨ. 研究は昨年度同様に 2.0 以下となっている。入学については昨年度入学者選抜方法を見直し、広報活動も充実させているところである。平成 30 年度にその効果を評価したい。また、研究についても、取り組めていないため、計画的に取り組む必要がある。

1. 教育課程経営について

教育目標と各領域・各科目・単元・授業内容の一貫性がとれていない科目については学科会で検討し、担当講師、教育内容について修正し、教員全員の認識を共有した。組織的な評価結果の活用が不十分である。

実習指導者と教員の役割は次年度に明記する。単位履修制と学年制の関連について学則及び履修規定で明記されていないため、規程等の見直しを行い、単位履修の方法について統一した。

2. 入学については応募者の推移をみると、昨年年ほぼ同様であり、応募者の増加は困難な状況が続いている。特に、第 2 看護学科の募集活動を効果的に行い応募者の確保が喫緊の課題である。

入学状況、入学者の推移は入学者選抜委員会で分析結果を報告し、職員間で共通認識しているが打開策を出すまでには至っていない入学試験については選抜方法の妥当性、試験問題作成基準、問題の検証、面接方法を検討した。

3. 卒業・就業・進学については両学科とも卒業後（8 か月後）、在校生、教員との交流会を行い、活動状況を把握できている。

4. 研究活動については研究活動の支援体制が十分活用されず、教員による研究への取り組みがされていない。

平成 30 年度取り組むべき課題

1. 自己点検・自己評価に必要なデータをできるだけ数値化し、評価資料を作成する。
2. 教育力向上に繋がる研修への参加率を上げる。
3. 教員が何らかの研究に自主的に参加できる、
4. 入学については入学生の質と量の確保のために応募者数を増やす。

自 己 評 価 表

平成29年度

香川看護専門学校

＊資料はカテゴリー内では小項目ごとに再掲していない

3：当てはまる 2：やや当てはまる 1：当てはまらない

カテゴリー		評 価 項 目	資 料（根拠）	評 価		
				3	2	1
Ⅰ ・ 教 育 理 念	1-1	教育理念は、学校の教育上の特徴を示している。	尽誠学園のあゆみ、学生便覧、学校案内			
	1-2	教育理念は、法との整合性がある。	看護師養成所指定規則			
	2-1	教育理念は、学生の学習の指針になるように具体的である。	講義要綱、実習要綱			
	3-1	教育理念は、卒業時点において持つべき資質を明示している。				
	4-1	卒業時点において持つべき資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当なものとなっている。				
		評 価				
Ⅱ ・ 教 育 目 的 ・ 目 標	1	教育目的・目標は、教育理念と一貫性がある。	学生便覧、講義要綱、実習要綱			
	2-1	教育目的・目標は、実際に学生の学習の指針になっている。				
	2-2	教育目的・目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読み取れるものとなっている。				
	3-1	教育目的・目標は、具体的で実現可能なものとなっている。				
	3-2	教育目的・目標は、看護実践者としての能力育成と学習者としての成長を促進の両面から設定されている。				
	4	教育目的・目標は、実際に教員の教育活動の指針となっている。				
	5	教育目的・目標は、卒業後の継続教育の考え方を示した上で設定されている。				
		評 価				
Ⅲ ・ 教 育 課 程 経 営	1-1	教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業・評価の関連性を明確に理解している。	講義要綱、実習要綱			
	1-2	教育課程編成者と教職員全体は、教育理念・目的達成に向けて一貫した活動を行っている。	学科会議記録			
	2-1	教育課程は、看護学の内容についての明確な考え方と根拠をもって編成されている。	各科目授業案			
	2-2	教育課程は、学修の到達について明確な考え方と根拠をもって編成されている。				
	2-3	教育課程は、学生の成長について明確な考え方と根拠をもって編成されている。	看護師養成所指定規則			
	3-1	科目構成は、明確な考え方と根拠をもってなされている。	学生便覧			
	3-2	単元構成は、明確な考え方と根拠をもってなされている。	授業評価結果			
	3-3	科目と単元の構成の考え方は、教育理念・目的・目標と整合性がある。	卒業生による学校評価			
	4-1	構成した科目は、看護師を養成するのに妥当である。	香川看護専門学校就業規則			
	4-2	構成した科目は、学校の特徴を表している。	教務の手引			
	5-1	単位履修の方法とその制約について、教員・学生の双方がわかるように明示している。	年間計画（学年年間計画）			
	5-2	単位履修の方法は、学生の履修支援に役立つものである。	インシデントレポート綴り			
	6	単位履修制の考え方を踏まえつつ、看護師になるための学修の質を維持できる科目配列となっている。				
	7-1	単位認定の基準は、看護師に必要な学修を認めるものとして妥当である。				
	7-2	単位認定の方法は、看護師に必要な学修を認めるものとして妥当である。				
	8	他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている。				
	9-1	教育課程を評価する体系を整えている。				
	9-2	評価結果の活用における倫理規定を明確にしている。				
	10-1	教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分している。				
	10-2	教員が授業準備のための時間を取れる体制を整えている。				
	11-1	教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽のシステムを整えている。				
	11-2	教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシテスムを整えている。				
	12-1	臨地実習施設は、学校の教育理念・目的・目標を理解している。				
	12-2	臨地実習施設は、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えている。				
	13-1	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、実習指導者の役割を明確にしている。				
	13-2	臨地実習指導者における学生の学びを保障するために、教員の役割を明確にしている。				
	13-3	臨地実習指導者と教員の協働体制を整えている。				
	14-1	学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している。				
	14-2	対象者の権利擁護の考え方にに基づき、学生への指導を計画的に行っている。				
	15-1	臨地実習において学生が関係する事故を把握・分析している。				
	15-2	学生に対する安全教育・安全対策を計画的に行っている。				

カテゴリー		評 価 項 目	資 料（根拠）	評 価		
				3	2	1
	評価					
Ⅳ ・教授・学習・評価課程	1	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されている。	講義要綱			
	2-1	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べている。	各教員の授業案			
	2-2	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標と整合性を持っている。	行事しおり等			
	3	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある。	学科会記録、 授業時間割			
	4	授業内容間の重複や整合性・発展性などが明確になっている。	実習要綱、 臨地実習指導者会議記録			
	5	授業形態（講義・演習・実験・実習）は、授業内容に応じて選択している。	学生便覧			
	6	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践している。	成績認定会議記録			
	7	授業の他に、学生の学習が深化・発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援している。	二科調整会議記録			
	8	効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしている。				
	9-1	授業評価計画を立案し、実施している。				
	9-2	授業評価結果に基づき、実際に授業を改善している。				
	10-1	学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価方法を取り入れている。				
	10-2	教育目標の達成状況を多面的に把握している。				
	11-1	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表している。				
	11-2	単位認定の評価には公平性が保たれている。				
	12-1	シラバスの提示や学習への指導は、学校全体としての一貫性がある。				
	12-2	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっている。				
	評価					
Ⅴ ・経営・管理課程	1-1	学校管理者は、教育理念・目的を明確に示している。＊ここでのいう学校管理者は校長をさす。	学生便覧、講義要綱、臨地実習要綱			
	1-2	学校管理者は、教育課程経営の考え方を明示している。				
	1-3	学校管理者は、教育評価についての考え方を明示している。	授業評価、講義計画会議記録			
	1-4	学校管理者は、学校運営についての考え方を明示している。	教務の手引き			
	1-5	学校管理者の考えと設置者の意思に一貫性がある。				
	1-6	教職員は、学校管理者と設置者の考えを理解している。				
	2-1	学校の組織体制は、教育理念や目的達成のための権限や役割が明確になっている。				
	2-2	意思決定システムが明確になっている。				
	2-3	意思決定システムは、組織構成員の意思を反映できるように整えられている。				
	2-4	意思決定システムは、決定事項が周知できるように整えられている。				
	3-1	組織の構成・教職員の採用の考え方は、教育理念・目的達成と整合性がある。				
	3-2	教職員の資質向上についての考え方と対策は、教育理念・目的達成と整合性がある。				
	4-1	財政基盤を確保するにあたっての考え方が明確である。	評議員会資料、決算報告書、予算書、入学者数推移表			
	4-2	財政基盤を確保することについての考え方は、学習・教育の質の維持向上につながっている。	会議議事録			
	5-1	教職員は、学校がどのような財政基盤になっているかを理解している。	（運営会議、職員会議、2科調整会議、学科会議）			
	5-2	教職員のそれぞれの観点からの財政についての意見は、経営・管理過程に反映できるようになっている。	機械器具備品台帳			
	6-1	学習・教育環境の整備について、管理者の考えを明示している。	施設整備計画表			
	6-2	管理者の考えに基づいて整備計画を立案し、実施している。	評議員会資料、決算報告書、予算書			
	7-1	看護の専門職教育に必要な施設設備を、計画的に整備している。	入学者数推移表			
	7-2	医療・看護の発展や学生の層の変化に合わせて、施設設備を整備・改善している。				
	8-1	学校の所在地の地域環境との関連から、学生・教職員の福利厚生施設設備を検討している。				
	8-2	学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を遂行しやすいように施設設備を整備している。				
	9-1	学生が入学後に学修を継続できるように、支援体制を多面的に整えている。	奨学金関係資料（公的、病院、学内） カウンセラーによる健康診断・健康相談の実施			
	9-2	学生が活用しやすいように、学生生活の支援体制を整えている。	奨学生名簿、学費延滞願綴り			
	9-3	支援体制は、実際に学生に活用され、学修の継続を助けている。	成績・単位認定通知、諸経費に関する通知			
	10-1	教育・学習活動の情報提供を関係者（保護者）に行っている。	同窓会名簿・校友会名簿、後援会収支報告書			
	10-2	関係者（保護者）への情報提供は、関係者から協力・支援を受けることにつながっている。	オープンキャンパス・学校説明会開催資料			
	11-1	看護師を養成する機関としての存在を十分にアピールする広報活動を適切に行っている。	新聞広告掲載紙、各種ガイドブック			
	11-2	広報の内容は、社会的説明責任を果たすものになっている。	学校相談会、学校案内、ホームページ			
	12-1	学校は、明確な将来構想のもとに運営の中長期的計画を立案している。	運営会議記録、年間・月間行事予定表			
	12-2	その実施評価は、将来構想と整合性をもっている。				
	13-1	自己点検・評価の意味と目的を理解している。	自己評価規程, 自己評価委員会会議録			
	13-2	実際に自己点検・評価を行う知識と方法を持っている。				
	14-1	自己点検・自己評価体制を整え、運用している。				

カテゴリー		評 価 項 目	資 料（根拠）	評 価		
				3	2	1
	14-2	自己点検・評価は、カリキュラム運営・授業実践にフィードバックするように機能している。				
	14-3	自己点検・評価体制は、教育理念・目的、目標の維持・改善につながるように機能している。				
	評価					
VI 学 入	1	教育理念・目的との一貫性をもって、入学者の選抜を実施している。	入学試験規程、入試運営委員会議事録			
	2	入学状況・入学者の推移について、選抜方法の妥当性および教育効果の視点から分析・検証している。	入学者選抜会議録			
	評価					
VII 卒 進 学 ・ 就 業 ・	1	卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っている。	実習経験録、国家試験学校別合格状況、			
	2-1	卒業時の到達状況を分析している。	卒業時の学校評価			
	2-2	卒業生の就職・進学状況を分析している。	養成所卒業生就業調査報告、			
	2-3	卒業生の到達状況、進学・就業状況の分析結果は、教育理念・目的と整合性を持っている。	進路・資格試験結果調査報告			
	3	卒業生の就業後の活動を支援する体制を整えている。	行事（卒業生との交流会）、同窓会の活動			
	評価					
VIII ・ 地 域 社 会 ・ 国 際 交 流	1-1	社会との連携にむけて地域のニーズを把握している。	日本看護学校協議会・香川看護協会等の各種会議を通じてのニーズの把握 国試合格率をもつての看護師の提供、 地域防災訓練・学生のボランティア活動への参加 香川看護協会の各種会合・施設での実習参加による 地域医療の現状把握			
	1-2	看護教育活動を通して、地域社会への貢献を組織的に行っている。				
	2-1	学校の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段を持っている。				
	2-2	学校から地域社会へ情報を発信する手段をもっている。				
	3-1	学校が設置されている地域社会の特徴を把握している。	ホームページ・学校行事の取材を通しての発信			
	3-2	地域内の社会資源を、学校の学習・教育活動に取り入れている。	自衛隊実習・親睦会・球技大会等の実施。			
	4	国際的視野を広げるための授業科目を設定している。	英文読解、臨床英会話、国際看護、特別講義			
	5	国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えている。	インターネット、図書室への関連書籍開架			
	6	海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えている。	日本語習得への支援体制			
	7	留学や海外において、看護職に就くことを希望する学生に対応できる体制を整えている。	在学証明・成績証明対応			
	評価					
IX ・ 研 究	1	教員の研究活動（時間的・財政的・環境的）を保障している。	就業規則、教務の手引			
	2	教員の研究活動を助言・検討する体制を整えている。	教員研修計画			
	3	研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地がある。				
	評価					

※文言は一部修正（引用文献 監修 看護教育問題研究会 看護教育自己評価指針）